

生産性向上支援訓練カリキュラム

A. バックオフィス	RPAを活用して生産性Up・低コスト化の糸口を知ろう！
新技術活用	RPAを活用した業務効率化・コスト削減

コースのねらい	業務の効率化とコスト削減をめざして、RPAの技術概要や活用事例、活用検討にあたってのポイントを理解し、RPAを活用した自社業務の課題解決策立案に繋げることができる能力を習得する。
---------	---

対象	(中堅・管理者層向け) ・定型化・自動化できる業務を知りたい方 ・RPA導入を検討している方
----	--

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	
講義内容	1 業務を自動化するRPA (Robotic Process Automation)	(1) RPAの機能の概要【演習あり】 そもそもRPAとは何かについて学ぶ。RPAは、これまで人が担っていたパソコン操作(単純・定型操作)をプログラミング不要で自動化することができる。したがってRPA導入は「デジタルレイバー(仮想的労働者)の採用」ともいわれる。	1.0	
		(2) RPAの特徴(活用の向き/不向き)【演習あり】 RPAの活用シーンについて学習する。RPAのモチベーションは、これまで盲点となっていたホワイトカラー業務の自動化である。手順の確定したパソコン上の作業を自動化できる一方、手順が決まっていない作業を自動化することはできない。	0.5	
		(3) RPAを導入するメリット【演習あり】 RPAには多数のメリットがあることを理解する。RPAのメリットには、作業を自動化することによる人手不足の解消、ミスの減少、品質の安定化、リードタイムの減少、単純作業からの解放によるモチベーションアップなどがある。	0.5	
		(4) RPAの活用事例【演習あり】 RPAがどのような業界でどう利用されているかを知る。たとえば金融機関においては事務作業が大規模に自動化されている。食品業界においてはPOSデータの自動ダウンロードなどにおいて活用されている。	1.0	
	2 RPAを活用した業務効率化とコスト削減策の立案	(1) RPA活用のための業務の見える化【演習あり】 RPAシステムに作業手順を入力する準備として、業務フローを見える化する手法について学ぶ。国際規格であるBPMN(Business Process Model and Notation)の記法にのっとり、業務のフロー図(流れ図)を作成する。	0.5	
		(2) RPA活用による業務効率化の検討【演習あり】 RPA導入プロジェクトの進め方について学ぶ。RPAがよく導入されている部門や、具体的な作業について知り、その上で自組織への適用を検討する。RPA導入においては、ガバナンス体制の構築が鍵となる。	1.0	
		(3) RPA導入コストと削減コストの比較【演習あり】 RPA導入に関わるコストについて知り、成果とのバランスにおいて導入可否の判断基準を学習する。RPA導入コストの比較に際しては人件費として考えることがポイントとなる。また、RPAツールライセンス費用の相場などの情報も提供する。	0.5	
		(4) 導入に係るコスト削減策立案【演習あり】 受講者自らRPA導入のコスト削減案を作成できることを目標とする。ただし、自動化の波からは逃れることができないため、RPA導入の判断基準は単純にコストだけではない。RPA導入は、AIを含めた高度自動化へのファーストステップなのである。	1.0	
	演習	受講者が一方的に講義を受けるのではなく、15分～20分間隔で演習を実施。最後まで集中を切らさず受講可能。		
	合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント	知識のない受講者が、RPAの概要を理解し、さらには自組織におけるRPAプロジェクトを進めるポイントを知ることができる。また、RPAベンダーからは独立・中立的な立場から解説するのが特徴。
---------------	--

備考	
----	--